科目名	ゲームデザイン 1							年度	2025
英語科目名								学期	前期
学科・学年	ゲームクリエイター科四年制 ゲームプランナーコース 1年次	必/選	必	時間数	60	単位数	4		講義+演習
担当教員	字野 菜々子/ 幸田 健志			 教員の実務経験 有		実務経験の職種		プログラマ / ゲーム プロデューサ	

【科目の目的】

プランナーの主な仕事である「アイデア出し」、「書類制作」、「ミーティング開催」を行えるようになるために到達目標のスキルと考え方を身につける。

【 科目の概要】 ゲーム制作に必要な企画力・アイディアカ向上のための基礎知識を身につける。

【到達目標】

- A: 提出物の締め切りを守り、授業課題を全て提出できる。 B: ゲームを構成する要素を学び、ゲームの本質を理解する。 C: グループで話し合い、アイデアをまとめることができるようになる。

【授業の注意点】

は 投来の注意は】 授業中はメモを取ること。 適宜資料を配布するが、口頭のみの説明もあるので注意して聞くこと。 万一、遅刻や欠席の場合は必ず担任に連絡すること。 ただし、授業時限数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができないので注意すること。

		部位共进 11 一节11	.		
		評価基準=ルーブリ			
ルーブリック	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力
到達目標 A	提出物の締め切りを守って常に時間通り提出しており、課題の出来 が優れている。		提出物の締め切りを8割程 度守り、かつ課題内容に 対して満足できるレベル である。		提出物の締め切りが5割も 守れない。もしくは多く の課題を提出せず内容の 質が低い。
到達目標 B	授業の内容を理解し、小テストで 9割以上点数を取ることができ る。		授業の内容を理解し、小 テストで7割以上点数を取 ることができる。		小テストが5割以下の点数 であり、授業の内容を理 解していない。
到達目標 C	積極的に話し合いに参加し、リーダーとしてアイデアをまとめることができる。		積極的に話し合いに参加 し、アイデアを人に伝え ることができる。		話し合いに参加できず、 積極的な意見交換ができない。
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

特になし

【参考資料】

毎回レジュメ・資料を配布する。

【成績の評価方法・評価基準】

課題: 50% 課題の提出、内容によって評価する。 成果 : 10% 毎回提出課題を実施、内容によって評価する。 平常点 : 40% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

	科目名	ゲームデザイン1					2025	
	英語表記				学期	前	期	
回数 授業テーマ		各授業の目的 授業内容		到達目標=修得するスキル		評価方法	自己評価	
			1 オリエン	前期の授業内容について理解する				
1 ゲーム会社の職種 や仕事内容	ゲーム会社の職種ごとの役割と仕 事内容はどういったものか?	2 職種と役割	開発における作業や職種が説明できる		2			
2 ゲームとは?		1 遊びと挑戦	ゲームにおける遊びと挑戦が説明できる					
	ゲームを構成する要素には何があるか?	2 達成感を与える	達成感の作り方が説明できる		2			
3	ゲームジャンル	ゲームにおけるジャンルとは何か?	1 ジャンルの話	ジャンルとジャンルごとの挑戦が説明できる		2		
4 能動的なゲーム		自ら遊びたくなるゲームとはどう いったゲームか?	1 能動的な挑戦	能動的な挑戦について理解している				
	能動的なゲーム		2 能動的の条件	能動的な挑戦に必要な条件を理解する		2		
		3 ブレストについて	ブレスト の概要を理解する					
			1 第4回の復習	能動的な挑戦について理解し構築できる				
5 前回の復習	前回の復習	能動的な挑戦について復習する	2 アイデア出し	ブレスト でアイデアをまとめることができる		2		
6	ゲームのクライ マックスを考える	ゲームにおけるクライマックスと は何か?	1 クライマックス	クライマックスの手法について理解する		2		
アクションゲーム 7 のアイデアを考え る	アクションゲーム	チームでアクションゲームの企画 を立てる	1 アイデアを出す	ブレスト でアイデアをまとめることができる				
	のアイデアを考え る		2 企画を立てる	まとめたアイデアを企画にすることができる		2		
8 アクションゲーム を企画する	7/2:->: # /	7 / 77 h > - > 10 / 0 / 5	1 アイデアを出す	ブレスト でアイデアをまとめることができる				
	を立てる	2 企画を立てる	まとめたアイデアを企画にすることができる		2			
	/		1 評価と報酬	達成感を生む評価と報酬が何か説明できる				
9 ゲームの評価報酬ターゲット	評価報酬のシステムとターゲット とは何か?	2 ターゲット	ターゲット の重要性を理解する		2			
10 ゲーム画面とし ゲームの世界観			1 ゲーム画面	ゲーム画面を構築するUについて理解する				
	ゲーム画面とUI ゲームの世界観		2 世界観	ゲームの世界観について理解している		2		
シューティング 11 ゲームのアイデフ を考える	シューティング	- ムのアイデア ナームでシューティングゲームの 企画を立てる	1 アイデアを出す	ブレスト でアイデアをまとめることができる				
	ゲームのアイデア		2 企画を立てる	まとめたアイデアを企画にすることができる		2		
シューティング ゲームを企画する			1 アイデアを出す	ブレスト でアイデアをまとめることができる				
		ティング	2 企画を立てる	まとめたアイデアを企画にすることができる		2		
企画書に大事な: 13 ンセプトと書類 流れ	企画書に大事なコ	ぶコ 頁の 書類の流れとは何か?	1 コンセプト ゲームのコンセプトと何か理解している				+	
	ンセプトと書類の		2 企画書の書き方	企画書に必要な要素を理解している		2		
14		アイデアシート の書き方	1 アイデアシート	シートを活用してアイデアをまとめられる		2		
	作成		************************************	並和5MDI + 内容+ IPARI1、7		_		
15	前期のまとめ	全14回分の復習	1 前期の復習	前期説明した内容を理解している		1		
		パフォーマンス証価 3 その他						

評価方法: 1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価: S: とてもよくできた、A: よくできた、B: できた、C: 少しできなかった、D: まったくできなかった

備考 等